

平成 27 年度 広瀬図書館利用者懇談会 実施報告

- 1 日時 平成 28 年 2 月 3 日（水） 13 時 30 分～15 時
- 2 会場 広瀬市民センター 2 階会議室
- 3 出席者 個人利用者 : 4 名
ボランティア団体 : 2 名（内訳：読み聞かせボランティア 2 団体 各 1 名）
学校関係者 : 2 名
広瀬図書館 : 広瀬図書館長 他 4 名
- 4 内容
 1. 開会
 2. 挨拶 広瀬図書館長
 3. 自己紹介
 4. 平成 27 年度の取組み（配布資料あり）
 5. 図書館アンケートについて（配布資料あり）
 6. 広瀬図書館へのご意見・ご要望等
 7. 閉会

5 広瀬図書館へのご意見・ご要望等

ご出席者の運営評価、皆様から頂戴しましたご意見・ご要望は以下の通りです。

(1) 広瀬図書館の事業全般

○「ひろせ しゃべぐる BOOKS」（読書会事業）について

(図書館から)

- ・「ひろせ しゃべぐる BOOKS」については、参加者が固定されてしまい、新規の参加者が集まらないことが課題となっている。このことについて、ご意見やご提案などがあればお伺いしたい。
- ・広瀬市民センターのサークル活動としてご紹介いただいた「老壮大学」との連携による実施は考えられないか。

(個人利用者から)

- ・「老壮大学」では、年度初めにどういったテーマでの取組を行っていくかを話し合うので、これに読書会を提案してもらえば、改めて参加者を集める必要もない。
- ・周知の仕方として地域の回覧板に回すというのもよいかと思う。学校経由よりは地域に向けて情報を発信してはどうか。
- ・回覧板で各世帯にお知らせする方法はよいと思う。町内会長さんなどを通じて依頼すれば可能。いかに周知できるかが大切だ。
- ・回覧板は地域によって回る時期に差異があり、広報のタイミングが難しい部分はある。

(学校関係者から)

- ・以前に勤めていた学校でも読書会を実施したことがある。親子で参加してもらいたいと考えて、課題図書をあらかじめ設定するという形ではなく、当日その場で読める詩を準備して実施した。低学年の児童も参加することができ、更には地域の話や子育ての話にも広がっていった。読書好きの方のための読書会と、初心者の方でも参加しやすい読書会があればよいと思う。

○「思い出アーカイブ」について

(図書館から)

- ・「思い出アーカイブ」事業は平成 26 年度から開始しているが、収載作品数はまだまだ少ない。この事業についてそもそもご存じか、それとも、ご存じではあっても作品の応募まではされていない状況なのかをお伺いしたい。

(個人利用者から)

- ・「思い出アーカイブ」については、今日の説明を聞いて内容が把握できた。広瀬図書館のカウンターに「思い出アーカイブ」を取り上げた河北新報の記事があり、職員の方の写真が載っているのは知っていたが、取組の中身までは気にしていなかった。直接説明を聞くことができると内容がよく分かるので、この辺りをどのように告知するか。図書館の事業についてあまり知らない人、興味の薄い人にでも伝わるような告知のあり方が必要だと思う。
- ・広瀬図書館で実施している「夏休み読書スタンプラリー」のように、作品を応募するとスタンプをもらえるようにするのはどうか。
- ・本を読むのが好きで図書館を利用しているが、書くとなるとやや敷居を高く感じる所はある。

(学校関係者から)

- ・作文については、学校でも読書感想文や作文みやぎなどがあり、これらは賞もついている。しかし、読書感想文の作成には本を読まなければならないことや、活字離れということもあり、応募数はやはり少ない。
- ・「思い出アーカイブ」でテーマとして設定されているカップダ川に関わる活動をしている児童もあり、チラシをいただければ書ける子もいるのではないかと思う。
- ・チラシをいただければ、学年主任などに話して情報を流したいと思う。

(図書館から)

- ・「思い出アーカイブ」に収載された作品は、広瀬図書館で読むこともできる。
- ・「思い出アーカイブ」については、お子様に向けたチラシの作成なども行いたいと考えている。
- ・例えば、小学校では遠足を実施すると思うが、この時のことを作文に書いたりすることがあると思う。そうした作文を提供していただいて、「思い出アーカイブ」に収載させてもらうことができないか。

(学校関係者から)

- ・遠足ということであれば、「思い出アーカイブ」のテーマになっている蕃山に行っている。児童の名前を載せることの了解を得ることは必要だが、そういったことも可能なのではないかと思う。
- ・作文については、各学校で地域ごとのテーマで書いていると思う。「思い出アーカイブ」で設定されているテーマの中で、私たちの学校に関わりそうなのは広瀬川くらいかと思うが、「芋沢川」などは作文のテーマになっていることが多い。

○「広瀬図書館まつり」の協働事業について

(ボランティア団体から)

- ・「広瀬図書館まつり」では、4つのボランティア団体関わって「おはなし会リレー」を実施した。図書館でも児童館や小学校にパンフレットを配るなどして準備をしてくれ、参加人数は年々増えてはいるものの、4団体協働の行事としてはふさわしくない参加人数だった。
- ・ボランティア団体が協働する行事については、広報の仕方も含め、課題点を改めて話す機会があってもよいと思う。当日に反省会を行っても担当者自身の反省に留まってしまうので、一度各団

体に持ち帰って話し合い、課題について提案し合うこともできるのではないかと。図書館に集まるのが難しくても、各団体が期限を決めて文書をまとめる形もとれると思う。

○仙台市博物館連携事業「土地の履歴書」について

(個人利用者から)

- ・2月24日に開催される「土地の履歴書」について、興味があり他の図書館で開催された際に参加しようと思ったが、参加者が一杯で入れず、市民図書館の開催回にも電話で申し込んだが、受付開始10分で定員に達したということだった。広瀬図書館の回は定員が30名ということで、参加はかなり難しいように思う。もう少し広い会場で定員を増やしてくれるとよい。泉図書館では朝早くから並んだ方もいたようだ。

(図書館から)

- ・30名という定員の設定は、以前に広瀬図書館主催で実施した歴史関係の講座の実施状況等を踏まえたものであったが、「土地の履歴書」への反響はかなり大きいと感じている。席数についても、ご要望の内容について検討させていただきたいと思う。また、開始時刻は10時30分となっているが、状況によっては早めに会場にお入りいただくことも考えている。

○連携事業について

(学校関係者から)

- ・連携事業をたくさん実施していることに感心した。地域に開かれており素晴らしいと思う。小学校でも図書に関する働きかけが盛んになっており、図書館との連携ということで、本をセットで借りるということを重視している。また、外部講師を招く取組も推奨されており、私たちの学校でもストーリーテリングや読み聞かせの講習や、広瀬図書館さんにもブックトークをお願いしている。
- ・今後の連携ということを考えると、広瀬図書館で実施された児童向けの落語ワークショップなどはとてもおもしろいと思う。声を掛けていただければ是非協力したい

(個人利用者から)

- ・広瀬図書館で実施している事業の説明を受けて、図書の貸出業務だけでなく、たくさんの事業を実施していることに感心した。これら全てを図書館職員の方が主体となって実施しているものだとすると相当な労力だと思う。併設の施設として広瀬市民センターがあり、多くのサークル活動が行われているので、そうした団体に関わってもらって、子ども向けの取組を行ってもらおうとよいのではないかと。囲碁教室や写真教室、地域で紙芝居をされている方もいる。史跡を巡る会を作っている方もいる。そういった方々の力を借りて、子ども向けの行事を実施していくことで、子どもの利用者も増えてくるのではないかと。
- ・広瀬市民センターで実施されている地域のサークル活動としては「老壮大学」というものもあり、年度初めには一年間の取組について話し合う。館外講座というものがあり、歴史民俗資料館や天文台、文学館などで実施することもある。広瀬図書館で実施するのはどうか。
- ・広瀬図書館で実施している事業の説明資料を見ると、小中学生や高校生向けの行事が多い。以前に参加した文学講座は、「向田邦子の世界」というテーマで、文学館の方からお話を聞くことができ、とても興味深かった。若い人ばかりでなく、高齢の方向けの行事もあつたらよいと思う。

○事業の広報について

(ボランティア団体から)

- ・行事広報の方法として、常に行事の情報を貼っておける場所があるとよいと思う。広瀬文化センターの敷地内にある道路沿いの掲示板に、半年間か一年間の行事情報を貼り出すのはどうか。広瀬市民センターの掲示板ということもあり交渉が必要だとは思いますが、長い期間情報を貼り出しておくことで目につく機会が増えれば、参加してみようと思う方もいるのではないかと。図書館も一生懸命準備をしてくれているのにもったいないと思う。是非検討してほしい。

(個人利用者から)

- ・本好きの人が集まる場所、例えば地域の本屋さんなどにポスター掲示やチラシ設置をお願いするのはどうか。
- ・広瀬文化センター正面入口のガラス扉には、市民センターの行事ポスターが貼られていることは多いが広瀬図書館のものは見かけない。目につく場所なので、貼らせてもらってはどうか。
- ・広瀬図書館の中にも色々なポスターやチラシが並んでいるが、図書館のものとそれ以外のものの区別がつきにくい。図書館の行事についてお知らせする場所と、それ以外の行事についてお知らせする場所が分かれているとよい。

(学校関係者から)

- ・以前に夏休み読書スタンプラリーのポスターをいただいたが、インパクトがあり、児童からの反響も良かった。

(図書館から)

- ・カウンターでチラシを配ることに重点を置いて、ご提案の掲示板を活用するという事は考えていなかった。確かに多くの方の目につく方法なので交渉したい。
- ・文化センター正面入口のガラス扉に図書館行事のポスターを掲示できないか交渉したい。
- ・地域の商業施設にポスターの掲示をお願いしているが、施設によって掲示の場所は異なり、広報の効果が十分に得られていないケースもある。
- ・近隣の書店にはポスターの掲示をお願いしている。
- ・確かに館内が情報過多となっている傾向はある。図書館の行事が峻別される形を検討したい。

(2) 図書館サービス全般

○資料展示について

(ボランティア団体から)

- ・本が好きで、個人としても子どもと一緒に週に一度は広瀬図書館を利用している。夏休みが近くなると工作関連の本が展示されるなど、いつも痒いところに手が届く図書館だと思っている。

○予約サービスについて

(個人利用者から)

- ・移動図書館については、母体が施設の図書館と切り離されたせいか本が変わらない。子どもの本もいつも同じ本が並んでいてもったいないなと思う。他の図書館と連携して定期的に新しい本が入るようになるとよい。
- ・移動手段として車を持っていれば広瀬図書館を利用することもできるが、知り合いにも車での移動ができず移動図書館を使っている人は意外と多い。予約した資料を移動図書館で受け取れるようになれば、そうした方々にとってもよいのではないかと。

- ・インターネットで予約する場合にも、移動図書館は受取館として指定できるようになるとよい。
- ・インターネットで予約をできるということが大変便利。本棚を回って探すのがなかなか大変な本もあるので、著者で絞って探すなど、パソコンがあればとても便利に探せるので、予約をしてはその本を広瀬図書館で受け取るということの繰り返しで利用させてもらっている。

(図書館から)

- ・移動図書館でも他館資料を予約して借りること自体はできるが、移動図書館の予約管理は地区館や分館と異なるため、融通の利かない部分がある。

○レファレンスサービスについて

(個人利用者から)

- ・レファレンスサービスとはそもそもどのようなサービスなのか教えてほしい。アンケートの設問にも出てきているが、設問の意味もよく分からない。

(図書館から)

- ・最近の意味が伝わりにくいということで言葉を変える方向に向かっている。
- ・「調べものサービス」のことで、本が所蔵されているかどうかの案内から、テーマや物事に関する本の所蔵状況や本の中身に関することなどをお調べするサービスである。

○学校への貸出サービスについて

(学校関係者から)

- ・レファレンスサービスというものがあるということだが、小学校では総合学習の中で地域の様々な物事について調べることがある。古くからの資料を学校でも集めたりはするが、不足するものは広瀬図書館から借りることができるのか。

(図書館から)

- ・仙台市図書館では、テーマに沿った本のパックを学校対象に貸し出す学校貸出を実施しており、青葉区では市民図書館で実施館である。
- ・総合学習との関係では、子どもたちが宿題の調べものをするために図書館に来られて、関連する資料について調べたり、貸出を受けたりすることがある。多くの子どもたちが同じ時期に同じテーマの資料を求める結果となり、後からご来館されたお子様には本を提供できない場合もある。
- ・広瀬図書館には地域資料を集めたコーナーがあり、本の形態をとらない資料などもあるが、子ども向けの資料はそれほど多くないのが現状である。

○小学校図書室の土曜開放に関連して

(学校関係者から)

- ・来年度から図書室の土曜開放を実施することになっているが、その方法は各学校に任されている状況である。個人情報などに配慮が必要だと考えているが、図書館で気を付けていることがあれば、具体的に教えてもらいたい。
- ・一般の方にも開放するということで、年間30冊ほどの新しい本を購入する予算がしたが、近隣には子育て世代が多いことなどを踏まえてどんな本を購入するべきかを考えている。この際、広瀬図書館の所蔵資料と差別化を図った方がよいのかなどについて悩んでいる。何かアドバイスがあればいただきたい。

(図書館から)

- ・児童のご家族に開放するという関係では、プライバシーへの配慮が必要になる。図書館では、仮にお子様のご家族に対してであっても、貸出資料をお伝えすることは基本的にしていない。
- ・図書館では、利用登録時にご記入いただいた登録用紙のご住所を、免許証や保険証などで確認させていただいている。この用紙の保管場所には必ず施錠しており、内容を第三者にお伝えすることも一切ない。また、登録用紙は既定の保存年限が経過した後に適切な方法で廃棄を行っている。
- ・小学校の図書室はどうしても児童書が中心になると思うので、その蔵書で補えない部分は公共図書館を活用してもらえればよいのではないかと。

(3) その他のご意見・ご要望

○不要貸出票の廃棄 BOX について

(ボランティア団体から)

- ・貸出票や資料票を捨てることのできる箱がカウンターに設置され、とても助かっている。

○学校図書室での取組について

(学校関係者から)

- ・今後、図書室の中にも「広瀬図書館へ行こう！」というようなコーナーを作って、情報発信を行っていきたいと思う。